

第1回秋山翔吾カップ(第70回横須賀少年野球大会)

林 但

2023年7月29日(土)～31日(月)にかけて大会は横須賀スタジアムほか隣接する中学校や小学校のグラウンドで開催されました。70回の節目の年に少年野球大会と児童ソフトボール大会を、市内出身のプロ野球広島東洋カープの秋山翔吾選手にちなみ、それぞれ「秋山翔吾カップ」として開催され、秋山選手からサポートの申し出を受けて実現しました。

市の魅力を発信する「横須賀盛り上げ大使」を務め、市内で小学生向けの野球教室を10年以上続けている秋山選手は、少子化などで競技人口が減少していることに危機感を持ち、今回の衣替えを提案。優勝カップなどを提供されました。

今回は学童(小学生)の部に16チーム、中学生の部に10チームが参加して行われました。私は3日目の31日準決勝の一部と両部門の決勝戦を観戦させていただきました。1週間前は児童球技大会(ソフトボール)では私たちスポーツ推進委員協議会が主管でしたが、今回は横須賀野球協会が担当です。

この大会には今回、横須賀少年野球連盟、秋山翔吾を囲む会実行委員会、(株)FALLs-A、(一社)KAKEHASHIが協力、(公益)横須賀青年会議所、(株)神奈川新聞社の後援がありました。

炎天下の中選手は力いっぱいハツラツとしたプレーを行っていました。また、今は控えである学童の部1、2年生と思われる選手がファウルボール拾いに走っている姿を見ていましたが、胸にジーンとくるものがありました。

お時間のある方は、ヴェルクよこすか(市立勤労福祉会館)1階に常設された。ゴールデン・グラブ賞のトロフィーや活動の軌跡などが展示されています。

この大会の詳細内容は横須賀市ホームページなどで確認下さい。



試合風景 1



試合風景 2



表彰式 カップ授与



MVPにはサイン入り手袋



学童の部優勝 鷹取トッパス



中学生の部優勝 若竹ライナーズ A